

NORDFOREST ▲

ノードフォレスト キャプスタンウインチ 取扱説明書



 **和光商事** WAKO 株式会社

目次

本取扱説明書について	3
適用範囲	
警告内容	

安全のためのインストラクション	4
正しい使用方法	
間違った使用方法	
使用者となるために	
- 以下の点を必ず守ってください	

製品概要	8
オペレーションモード	
装備品について	
シンボルマーク	

製品内容	10
商品が届いたら	

運用・使用に際して	11
燃料の充填	
ウインチのアンカー	
牽引物の固定	
プーリーの設置	
牽引作業の前に	
牽引準備	
エンジン始動	

牽引	16
-----------	-----------

清掃とメンテナンス	18
故障	

製品技術仕様	23
アフターサービス	

本取扱説明書について

適用範囲


本取扱説明書は以下のノードフォレストキャプスタンウインチについて適用します。

品名	タイプ
キャプスタンウインチ1200	最大牽引力 1200 kg

本製品は森林に関わる専門家向けの製品です。基本的な森林作業における知識を必要とします。

本取扱説明書はノードフォレストキャプスタンウインチを安全かつ適正に移送、運用、使用を行うための重要な情報を含みます。

警告内容

 **警告内容**

- 警告表示()はケガや生命にかかわるリスクを示します。
- 警告文は事故の重大性を示します。
- **"本質的危険と危険の原因"** という文言は本質的危険か危険の原因ということを示します。
- **"影響"** 表示は警告の無表示であれうことの可能性を示します。
- **"危険の回避"** の表示は危険をどのように避けるのか。事故をさけるための指標となります。

警告文言は以下の意味を持ちます。

警告	意味
危険!	従わない場合に致命的な損傷や重大な事故を引き起こします。
警告!	従わない場合に重大な事故や大きなけがを引き起こします。
注意!	従わない場合に重大な事故や大きなけがを引き起こす可能性があります。
留意!	従わない場合は製品や環境に損傷や負荷を与える結果を引き起こします。

本取扱説明書内のシンボル

シンボル	意味
i	この表示を無視すると実際の運用に支障をきたす場合があります。
>	アクションの要求：行わなくてはならない動作・作業を示します。

安全のためのインストラクション

このキャブスタンウインチは森林作業に慣れたユーザーが使用するものとして設計・製造されています。本取扱説明書に従わない場合にはケガや事故のリスクがあります。本説明書を実際の作業をする前に良く読んでください。

- > 本取扱説明書をご使用前に良く読んでください。
- > 本取扱説明書は大切に保管してください。
- > すべての使用者が本取扱説明書を読めるようにしてください。
- > 常にこの取扱説明書を共有できるようにしておいてください。
キャブスタンウインチを使用するすべての方が読めるようにしておいてください。

正しい使用方法

キャブスタンウインチは重量物を地上で牽引する目的の機械です。使用上における性能値は技術仕様に記載されている性能仕様を超えて使用することはできません。また本機械は以下のエリアでのみ使用することを許可されています。

- 森林において。
 - 大きな機械などで近づけないエリアの重量物の牽引
 - 伐木の簡易的な牽引
 - 伐倒の際の補助的な役割
 - クレーンシステムを組み立てるとき
- 事故などで車両等がスタックや横転した場合のレスキュー牽引
- 狩猟などにおける対象物の牽引
- 工事現場における資材物の牽引

木登り・救助のための人の牽引には、絶対に使用しないでください。キャブスタンウインチは応用の利かせる牽引として設計はされていません。牽引時のロープは必ず緊張した状態に張っていなければならず、緩めた場合には牽引対象物が落下などする恐れがあります。そのため、絶対に人の牽引などには使用しないでください。また、キャブスタンウインチは1人で使用する設計となっています。2人以上でのご使用はおやめください。思わぬ事故の原因となります。ご使用の際には必ずこのマニュアルを良く読んで正しい使い方をしてください。

間違った使用方法

間違った使用方法は絶対におやめください。例えば、、、

- ・キャブスタンウインチの改修や改造
- ・安全装置の取り外しや改造
- ・正しい使い方以外の使用方法
- ・他の作業中の間に並行して使用するなど

間違った使用における事故等の責任は一切負いかねますのでご注意ください。

使用者となるために

キャブスタンウインチは本取扱説明書を読んだうえで、機械に詳しい人のみ使用・メンテナンスをすることができます。本ウインチを使用する方は酒酔い・ドラッグや薬をしていない方に限ります。また18歳以下の方は使用しないようにしてください。ただし、16歳以上でこのような機械の使用に詳しい方の場合は、きちんとしたトレーニングを受けたうえで使用することができます。

以下の点を必ず守ってください。

基本安全操作

- ▶機械のダメージや事故を防ぐために以下の操作をお守りください。
- ▶一般的な法令に従って、安全に留意しながら使用してください。
- ▶設置やセットアップ、メンテナンスや清掃、または輸送などの際には必ずモーター（エンジン）のスイッチをオフにしてください。
- ▶使用する際には、防護衣やヘルメットなど身体にあった安全装備を着用して使用してください。
- ▶キャブスタンウインチの使用中にウインチから離れないでください。
- ▶長髪などの場合は必ず髪をまとめて絡まらないようにしてご使用ください。
- ▶メンテナンスやセットアップ時は使い慣れた機材を使用してください。
- ▶牽引前には常に正常にセットアップされているか、または間違った使用方法をされていないかを確認してから使用してください。
- ▶牽引の最中には絶対にウインチドラムに触らないようにしてください。
- ▶牽引前にナットやボルトなどがしっかりと締まっていることを確認してください。
- ▶ギアボックスは開けないでください。保証範囲外となります。
- ▶使用の際は常にアンカーで接続され、さらに負荷方向にウインチが回転するためにウインチ本体の動きが自由な状態を維持してください。
- ▶メンテナンスや清掃前には必ずスイッチをオフにしてください。また、スイッチを入れる際には安全を確かめてからオンにしてください。

- ▶推奨のアクセサリーのみご使用ください。
- ▶キャプスタンウインチは部屋の中では使用しないでください。
- ▶劇毒物(液体・ガス・ミスト)の近くでは使用しないでください。
- ▶粉塵の舞う場所では使用しないでください。

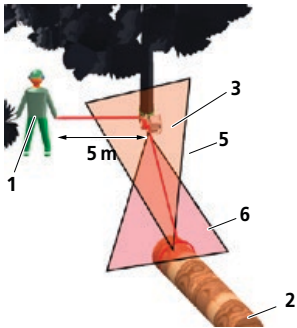
牽引時の安全操作

- ▶キャプスタンウインチの部品がしっかりと締まっていることを確認してください。
- ▶**絶対に**フックやシャックル、チェーンや他の金属品でウインチを固定して使用しないでください。
- ▶スリングベルトは布地のものを使用してください。例えばポリエステル製のラウンドスリングなど。牽引ロープは仕様に記載された適合サイズのものをご使用ください。また、傷やダメージなどが無いことを確認してください。
- ▶ロープやドラムは潤滑油などで汚れていないかを確認してください。汚れていると牽引している最中にロープがスリップなどをしてウインチ本体に破損が起きる可能性があります。その場合は製品保障範囲外となりますので、ご注意ください。
- ▶ウインチは絶対に動かないしっかりとした樹木や鉄骨などに括りつけて使用してください。括りつけの箇所は牽引の最大荷重の2倍の力がかかる可能性があります。

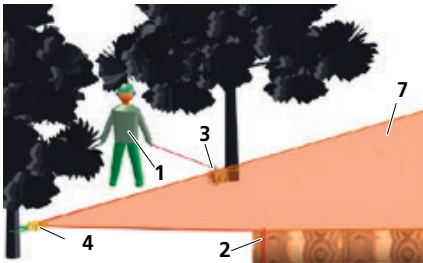
作業スペースの安全確認

- ▶使用するエリアの安全を確認してください。特に牽引するエリア周辺に余計なものがないことを確認してください。
- ▶危険な作業エリアには周囲に作業中であることを提示し、バリアテープなどで作業範囲内に人が立ち入らないようにしてください。
- ▶牽引する対象物が通過するエリアには何も置かないようにしてください。
- ▶事故等が発生したときに備えて必要な救急備品を準備しておいてください。
- ▶日中での作業に限ってください。
- ▶作業は荒天時には行わないでください。また雪上や風の強いときなどは牽引対象物がスリップ等の危険性がありますので、おやめください。
- ▶牽引対象物に対して下での作業はおやめください。必ず同位置もしくは上方から作業を行ってください。
- ▶危険エリア範囲外にいることを確認してから作業を開始してください。
- ▶ウインチの作業中はエンジン音などで警告などが聞こえづらくなる可能性があります。さらにイヤーマフの装着などでより危険な声掛けが聞こえなくなりますので、周囲の安全を確認してから作業をするようにしてください。
- ▶ウインチの作業中はロープとウインチから5 m程度離れて安全確保の上で作業してください。

図1.危険なエリア



- 1 作業者
- 2 牽引対象物
- 3 キャブスタンウインチ
- 4 プーリー
- 5 固定不備の場合の危険エリア
- 6 ロープが不備の場合の危険エリア
- 7 プーリーが不備の場合の危険エリア



緊急時の対処方法

- > 万が一、危険な状況や様々な要因で事故やケガが発生しそうな場合の対処方法を示します。
- > すぐさま作業を中止し、牽引対象物に対する負荷状態をやめてください。（材木等を下ろしてください。）
- > 危険エリアよりすぐに退避してください。

安全用具

すべての固定具や締め具などの保護具をそのままにし、絶対に取り外さないようにしてください。作業中に取り外したりすると、作業者への重大な事故やケガの可能性があります。また、ウインチ本体にも損傷が発生します。

パーソナル安全用具

常に以下の作業保護具を装着・着用して作業してください。

- 安全靴
- 防護グローブ
- 身体にあった作業服
- ヘルメット
- 保護メガネやフェイスガード
- イヤーマフ

**製品概要：
キャブスタンウインチ1200**

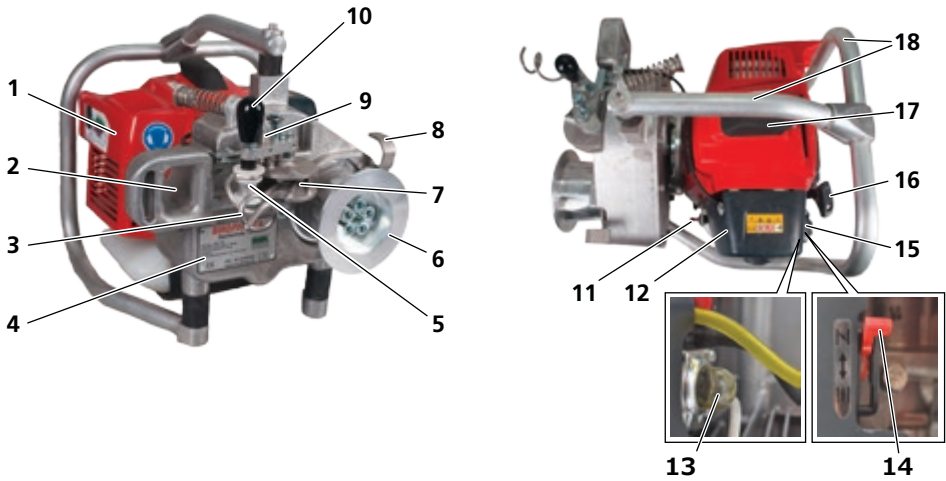


図 2 : カワサキエンジン搭載のキャブスタンウインチ1200

1 エンジンカバー	10 ロープ固定ハンドル
2 固定フック	11 On/off スイッチ
3 デフレクションフック	12 エアフィルターカバー
4 タイププレート	13 キャブレターポンプ
5 ロープブーリー	14 チョークレバー
6 キャブスタンドラム	15 タンク
7 ロープクランプ	16 スターターハンドル
8 ロープフック	17 スパークプラグ
9 ハーフスロットルピン	18 ガード及び 衝撃吸収ラバーフレーム

オペレーションモード

このキャブスタンウインチは地上で牽引対象物を引きづって牽引することを目的とした製品です。キャブスタンウインチ1200は、2ストロークのカワサキエンジン（TJ53）を採用し、アルミハウジングのボディにキャブスタンドラムを取り付けています。トラクションを上げるため、ドラムには波状の溝が彫り込まれています。さらにアルミハウジングには平歯車が組み込まれ、最大牽引力1200kgの場合には、7.5m/秒のロープスピードで牽引します。

このキャブスタンウインチは固定フックと地上のカウンターウエイトとなる固定先とをスリングベルトなどでしっかりと結び付けます。それから牽引対象物にロープを括りつけてキャブスタンウインチで牽引します。

事故のリスクを極力なくすために、必ず危険エリア外での作業を行ってください。

安全距離はウインチから5m程度となります。牽引作業前にまずエンジンを始動させます。ロープの先を引っ張ると、キャブスタンドラムが動き出し、回転を始めます。

引っ張っている間はトラクションが上がり、ドラムは回転し続けます。そしてロープを離すと、エンジンのアクセルが緩みアイドル状態になってドラムの回転が停まります。その状態で手を緩めると牽引対象物からの自重によりロープは若干巻き戻ります。

装備品について

このキャブスタンウインチに装着されているナット・スプリングやアクセルワイヤーなどは保証範囲外部品ですのでご注意ください。

キャブスタンウインチのシンボルマーク



注意して本取扱説明書を良く読んでください。



排気ガスを吸入しないよう注意してください。



注意!火災に気を付けてください!



本取扱説明書を良く読んでから作業してください。



室内作業は禁止です!



エンジンが熱を持っているときの燃料補給は禁止です!



牽引対象物に乗らないこと!



イヤーマフを装着!



警告! 表面が熱くなります

マーク

内容

Leave engine to idle for a few minutes before stopping.

エンジン停止前には数分間エンジンをアイドル状態にしてください。

Before refuelling, wait 5 minutes with the engine stopped.

燃料補給にはエンジン停止から5分程度お待ちください。

Warning!
Change gears without load only and with motor turned off

警告! エンジン停止・負荷をかけていない状態でギアを変更してください。



タイププレート
製造者表記および重要な技術仕様の記載



製品内容 このキャブスタンウインチには、以下が含まれています

- ウインチ本体
- 取扱説明書

商品が届いたら。

製品をご購入後、まずは梱包に傷などが無いかをご確認ください。

✖万が一、傷やダメージがあった場合にはすぐさまご購入の販売店にご連絡ください。その際、どのような傷・ダメージかを写真等で記録しておいてください。

✖続いて、内容物をご確認の上、傷・ダメージが無いかをご確認ください。また大きな傷・ダメージがあった場合にはすぐさまご購入の販売店にご連絡ください。

✖開梱した際には内容物がそろっているかをご確認ください。

✖万が一、オイルキャップ等がしっかりと締まっていない場合にはオイルなどが漏れ出す可能性があります。開梱時にオイル漏れが無いかをご確認ください。


ATTENTION

オイル漏れによる危険!


もしもオイルキャップなどを締めていない場合、オイルが漏れる可能性があります。


✧ タンクキャップをしっかりと締めてそれ以上漏れないようにしてください。

運用・使用に際して

 WARNING
<p>作業中は常に事故のリスクがあることを理解してご使用ください！ トランスミッションが駆動した時からキャブスタンダムは回転を始めるので事故の危険性があることを認識してください。</p>
<p>騒音による聴力低下にご注意ください！ このウインチは騒音が発生しますので、ご使用の際には必ずイヤーマフなどで耳を守るようにしてください。</p>

燃料の充填

 WARNING
<p>燃料の取り扱いにご注意ください！ オイルや燃料は火気厳禁です。取り扱いの際にはタバコなどは絶対におやめください。 また充填時には周辺に火気などがないことをご確認の上、燃料を取り扱うようにしてください。 燃料の補充は作業エリアより3m程度離れて作業してください。</p>

 CAUTION
<p>オイルによる健康被害にご注意ください。 オイルや燃料は揮発性ですので、吸引によるめまいや健康被害にご注意ください。ガスなどを吸い込まないようにしてください。</p>

ATTENTION
<p>適合するオイルや燃料をご使用ください！ エンジンは規格に適合した燃料をご使用ください。 > 純粋なガソリン燃料が使用しないでください。 > 2年以上保管したガソリンは使用しないでください。 > 混合ガソリン（50：1）をご使用ください。</p>

**このキャブスタンウインチは2ストロークエンジンを
 使用しています。
 50：1の燃料以外は使用しないでください。**



燃料を補充する際には：

- ▶ スイッチをオフにしてください。写真の“0”の位置です。
- ▶ エンジンが冷えるのをお待ちください。



- ▶ タンクキャップをゆっくりと緩めて噴出さないよう注意して外してください。
- ▶ ホコリなどが入らないようご注意ください。
- ▶ 燃料を毎回良く振ってから、漏れないようにしてタンク容量の3/4以上充填してください。
- ▶ タンクキャップを完全に締めてください。

ウインチのアンカー(固定)

ATTENTION

不適切な締め方によるウインチへのダメージ注意してください。

適切な運用をしないと、思わぬ事故の原因となります。

- ▶ キャブスタンウインチはフックやシャックル、チェーンなど金属製のツールでは絶対に固定しないでください。
- ▶ ポリエステルのスリングベルト(2000kg耐荷重)のみご使用ください。
- ▶ フレームやエンジンカバーを固定には使用しないでください。固定フックのみアンカーにご使用いただけます。

i アタッチメントポイントは、キャブスタンウインチよりも高い位置に固定しなければなりません。キャブスタンウインチが自由な状態で動くことができるようにしてください。



キャブスタンウインチをアンカー(固定)するために：

- ▶ スリングベルトを固定フックに通してください。
- ▶ 固定物や樹木などにスリングベルトを通します。
- ▶ ベルトが切れたり外れたりしないようにしっかりと結んでください。

牽引物の固定

このキャプスタンウインチは以下のものを牽引することを目的とした製品です。

- スタックしてしまった車両
- 樹木
- 建築用資材
- ケーブル

牽引物の固定は以下の要領で行ってください。

- > 適切な吊り上げ工具を使い、ロープの端を結び付けてください。
- > ロープはウインチの仕様にあったものをご使用ください。
- > 製品仕様に適合する重量物の上限を守ってください。

プーリーの設置

WARNING

不適切なロープの使用はおやめください！

プーリーの規格に適合するロープを使用してください。

- ▶ ロープの径サイズは適切なものを使用してください。
- ▶ 作業前に危険エリアに人やものがないかを確認してください。
- ▶ ロープは傷やほつれがないものをご使用ください。

プーリーをご使用の際は、プーリーへの荷重は2倍を想定してご使用ください。

牽引作業の前に

WARNING

不適切なロープの使用はおやめください！

適切なロープを使用しないと思わぬ事故を引き起こします。

- ▶ ロープは耐荷重を含めて適切なものを使用してください。
- ▶ 作業前に危険エリアに人やものがないかを確認してください。
- ▶ ロープは傷やほつれがないものをご使用ください。

WARNING

牽引中のロープの動きにご注意ください！

牽引作業中はロープが思わぬ動きをする場合があります。特にドラムでのねじれなどが起きないかを注意しながら牽引をしてください。

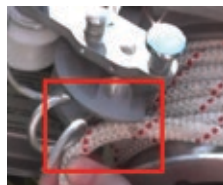
牽引準備



- ▶ ウインチ側のロープをロープフックに引っ掛けます。



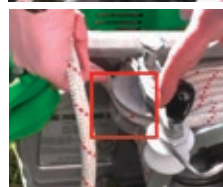
- ▶ キャプスタンドラムに最低5周以上ロープを巻き付けてください。



- ▶ ロープクランプにロープを差し込んで、ハンドルを開いてハンドルから外れないようにロープを經由させてください。



- ▶ ローププーリーにロープを差し込みます。



- ▶ ロープクランプにロープをしっかりと食い込ませて經由させます。



- ▶ ロープ固定ハンドルをもとの位置に戻してください。ローププーリーに沿わせてロープを通してください。



- ▶ スプリングの中を經由させてロープを外に出してください。

エンジン始動



WARNING

排気ガスの吸引にご注意ください。

エンジンが始動すると排気ガスが排出されます。健康被害を防ぐために絶対に吸引しないでください。



エンジンを始動させます

エンジンスタートのためには、オンオフスイッチを“I”の位置にオンします。



- ▶ エンジンが冷え切っている場合にはチョークを“|、|”の位置に合わせてください。

エンジンが温まっている場合にはチョークはご使用しないでください。



- ▶ 燃料ポンプを1～2回程度押下して、キャブレターに燃料を送り込みます。送り込みすぎるとキャブがオーバーフロー(かぶり)を起こしますのでご注意ください。
- ▶ スターターロープを**一度だけ**引いてください。

i スターターロープを何度も引くと、チョークレバーを戻さない限り燃料かぶりを起こす可能性が高まります。その場合はチョークレバーを位置を“↓”に戻してから始動手順をい。それでもエンジンが始動しない場合には、スパークプラグを清掃したうえで20～30分後に再度始動手順を行ってください。

エンジンが始動したら、チョークはもとの位置に戻っているかを確認してください。

牽引



WARNING

安全距離をしっかりと保持してください。

安全を守る距離を維持しないと 事故の原因となります。

- ▶ 作業はウインチおよびロープから5m以上離れて行ってください。
- ▶ ロープを一気に巻き上げると、牽引対象物が外れた場合に跳ねたり暴れたりして大変危険です。そのため、ロープを力いっぱい引っ張ったりしないようにしてください。
- ▶ またウインチにかかる荷重方向が牽引方向と同列となるよう配置してください。

作業手順

- 牽引対象物とロープをしっかりと結び付けます。
- ロープをある程度張るまで引っ張ります。
- エンジンを始動させます。
- ロープを緊張させるまでゆっくりと引っ張ります。
- スロットルが開いてアクセルオンとなります。
- キャブスタンドラムが稼働し始めてロープが牽引されます。
- ロープの引き込み加減でアクセルの開閉が調整できます。
- 万が一、ロープを引っ張ってもアクセルが開かない場合には、1~2回ほど強く引っ張ってみてください。

ロープの緩め方

傾斜地において牽引するときにロープを緩めても、アイドルリング中はキャプスタンドラムでロープがしっかりと停まるため、牽引対象物が急速に落ちることはありません。

しかしながら対象物を浮かせた状態の場合に、下ろしたいときはロープを緩めていくと徐々に自重により地上に降ろせます。

▶ **注意しながらロープを緩めてください。**



エンジンの停止方法

以下の手順に従ってエンジンを停止させてください。

- ▶ 手に持っているロープのテンションを緩めてください。スロットルレバーがアイドルリング位置に戻ります。
- ▶ 数秒エンジンが冷えるまでアイドル状態を維持してください。
- ▶ スイッチを切ってください。
- ▶ エンジンが停止します。

アイドル中のエンジンスピードを調整したいとき

i エンジンがアイドル中はキャプスタンドラムは動きません。もしもアイドルリング中にも関わらず、エンジンスピードが高すぎる場合、これは調整可能です。本来出荷前に調整したうえで出荷していますので、必要ない作業ですが、アイドル中のモータースピードを調整したいときには以下をお試しくください。



- >減速させたいときはネジを反時計回りに回してください。
- >加速させたいときにはネジを時計回りに回してください。

ハーフスロットルでのエンジンスピードの調整

ハーフスロットルでのエンジンスピードが高すぎる場合、調整することができます。本来出荷前に調整したうえで出荷していますので、必要ない作業ですが、ハーフスロットル中のモータースピードを調整したいときには以下をお試しくください。



- >コントロールレバーのグラブスクリューを緩めてください。
- >減速させたいときにはハーフスロットルピンを反時計回りに回してください。
- >加速させたいときにはハーフスロットルピンを時計回りに回してください。
- >ドライバーなど適切な工具をご使用ください。
- >グラブスクリューを再度締めてください。



清掃とメンテナンス



WARNING

エンジン駆動最中の清掃作業は絶対におやめ下さい！
また、エンジン本体は熱くなっていますので、やけどにご注意ください。

ATTENTION

改造などは保証範囲外のなりますのでおやめください！
本来の形状を改造などによって変更された場合には保証範囲外となります。
・本取扱説明書に記載の修理・メンテナンスのみ行ってください。
・それ以外の場合にはご購入の販売店にご連絡ください。

以下の作業のみ必要に応じて行ってください。

- >外部清掃および外部のダメージの確認
- >可動部における潤滑油やオイルの補充
- >タンクフィルターの確認と交換
- >エンジンカバーの清掃
- >エアフィルタースポンジの清掃と交換
- >ロープの清掃と交換
- >スパークプラグの交換

確認作業

ご使用前には必ずウインチにダメージがないかを確認してください。

>もしも傷や損傷を発見したら、販売店にご連絡ください。

ご使用前には必ずネジがしっかりと締まっているかを確認してください。

>もしもネジが緩かったらすぐに締め直してください。

清掃作業

- > 乾いた布でウインチを拭き上げてください。
- > 洗剤などはご使用にならないでください。
- > 汚れやほこり、木くずなどを取り除いてください。

潤滑油の補充

ATTENTION

牽引ロープに潤滑油は絶対に使用しないでください！

潤滑油がロープやドラムに付着するとスリップをおこしてしまいます。最大牽引力を発揮することができなくなります。

- ▶ 潤滑油がロープやドラムに触れていないかを確認してください。

キャブスタンウインチに定期的に潤滑油を差すことは性能を発揮するためにもまた寿命を延ばすためにも重要なことです。

潤滑油は以下のパーツに差してください。

- ▶ キャブレーターにおける稼働部分のすべてとプーリーやロック機構部分

タンクフィルターの交換

タンク内のフィルターは適度に交換してください。目詰まりは故障の原因となります。



タンクキャップを取り外します。



タンクフィルターを注意しながら取り外します。
タンクフィルターが汚れていたら交換してください。

エンジンの清掃

ATTENTION

エンジンが汚れていると故障の原因となります！

エンジンが汚れていると内部損傷の原因となります。

オイルペーパーなどでは清掃しないでください。ブラシやコンプレッサーエアアなどで清掃してください。

オーバーヒートから守るためにも使用後は必ず清掃してください。

エアフィルタースポンジ

エアフィルターの下にあるエアフィルタースポンジは、毎日状態を確認してください。**汚れている場合には清掃してください。**



- › エアフィルターのカバーを外します。
- › エアフィルタースポンジを取り外します。
- › コンプレッサーのエアできれいにしてください。
※あまりにも汚れがひどい場合には交換してください。
- › 再度フィルターを入れます。
- › フィルターカバーを取り付けます。

牽引ロープの清掃

>使用後は毎回ロープに木くずなどがついていないか、ついていれば清掃してください。

>ひどい土汚れなどが付いている場合には、水などできれいに洗い落とします。

>洗剤などは使用しないでください。

>傷などがある場合には交換してください。

スパークプラグ

スパークプラグはウインチの上部のエアフィルターカバーのとなりにあります。



- i** 50時間の稼働で1回は確認してください。スパークエリアは0.5-0.6mm程度あるかどうかを確認します。汚れなどがひどい場合には交換してください。推奨のスパークプラグは、NGK BPMR8Y(220704)です。

廃棄と処分

本ウインチを廃棄する場合は、それ以上使用することができない状態まで必ず分解する必要があります。

各地域の指定の方法にて廃棄するようにしてください。

保管

一時的な保管：

- ＞ キャブスタンウインチは換気の良い、湿気の少ない場所に保管してください。
- ＞ 納品時の段ボールケースなどに保管し、汚れやほこりなどが入らないようにしてください。

長期的な保管：

- ＞ 燃料を空にして保管してください。
- ＞ ウインチ全体を清掃してください。
- ＞ 可動部分に潤滑油を差してください。
- ＞ スパークプラグを取り外します。
- ＞ キャブスタンウインチは換気の良い、湿気の少ない場所に保管してください。

故障

故障したらご自分で修理できない場合にはご購入の販売店もしくは弊社営業所までご連絡ください。

- i** 販売店にご連絡する前に、お持ちの機械の機種やエンジンタイプをご確認ください。また、ご購入日もご用意ください。



札幌営業所	TEL : 011-375-9747	FAX : 048-864-5565
東北営業所	TEL : 019-635-0824	FAX : 019-635-0825
東京営業所	TEL : 048-845-0025	FAX : 048-864-5565
大阪営業所	TEL : 072-734-6500	FAX : 072-734-6501
九州営業所	TEL : 096-338-1260	FAX : 096-338-1365
業務サービス部	TEL : 048-864-5636	FAX : 048-864-5618

故障かな？	想定原因	修理改善方法
ウインチがスタートしない	燃料が空の場合	燃料を補充してください
	オンオフスイッチが入っていて、ギアを手動で回転させた場合	販売店で修理してください
	スパークプラグの汚れ	スパークプラグの確認と交換
	電気が弱い場合	スパークプラグの交換
	キャブレターの設定が間違っている	エンジンスピードの設定を調整してください
	混合燃料の比率が違う	燃料を空にしてください
	低品質の混合燃料	燃料を空にしてください
	燃料かぶり	スパークプラグを清掃し20分以上おいてから再度始動してください
牽引をできない	ロープがスリップ <ul style="list-style-type: none"> - ロープが正しくない - ロープにオイルや潤滑油が付着していないか 	ロープを強く引っ張ってください。 ロープを交換してください。 ウインチを清掃してください
	ドラムがブロックしている <ul style="list-style-type: none"> - ギアが噛み合っていない - トランスミッション故障 	販売店で修理してください

製品技術仕様

製品仕様 ウインチ	Capstan winch 1200	製品仕様	カワサキエンジンTJ53
質量 [kg]	13 kg	タイプ	TJ53
長さ [cm]	37	出力 [kW/PS]	2 /2.68
幅 [cm]	33	排気量 [cm ³]	53.2
高さ [cm]	34	エンジンスピード [rpm]	max. 8500
トランスミッション	1 speed	キャブレター	Walbro WYK 60プレミアムタイプ
比率	1:160	タンク容量[l]	1.1
最大荷重 [kg]	max. 1200	クラッチ	Centrifugal clutch
スピード[m/分]	max. 10m/分	スロットルレバー	With half-throttle position
		ノイズ [dB(A)]	115

牽引ロープ ロープはオプションです。

- ▶ 必要に応じて販売店にご相談ください。
- ▶ ロープの選定には仕様に適合するものをお選びください。

要求仕様	Capstan winch 1200 with Kawasaki motor
ロープ	最大牽引荷重容量は1200kg
素材	合繊ロープ
直径 [mm]	8-9.5
長さ	必要に応じて
破断力 [daN]	min. 2500

アフターサービス

ご不明な点等ございますときは、ご購入いただいた販売店もしくは弊社業務サービス部までご連絡ください。

和光商事株式会社 業務サービス部 048-864-5636

info@wako-shoji.jp

NORDFOREST ▲

wako-shoji.jp

